



日本海藻協会ニュース

2009年11月15日

・協会事務局から

1. 「海藻資源」と「シンポジウム講演集」のバック・ナンバー
会誌「海藻資源」No.18 (2008)、No.19 (2008)、No.20 (2009)、並びに 2008年と2009年の「秋季藻類シンポジウム講演集」のバック・ナンバー（有料：1冊 1,000円＋送料実費）はまだ残部があります。ご希望の方は協会事務局にお申し込みください。事務局のメールアドレスは jsa@japan-seaweed-association.com です。

「海藻資源」No.21 は12月下旬に発行される予定です。

2. 「海藻資源」の原稿募集

会誌「海藻資源」No.22(2010年6月発行予定)の原稿を募集しています。投稿締切りは2010年2月25日です。原稿はarugay@mx4.ttcn.ne.jp宛にお送りください。

・海藻関連ニュース

1. 国際藻類会議 2009

欧州微細藻類バイオテクノロジー学会 (European Society of Microalgal Biotechnology, ESMB) とDLG e.V. (ドイツ) 及びAPP (オランダ) が主催する国際藻類会議 2009 (International Algae Congress 2009) が2009年12月1-2日にハンブルク(ドイツ)のハーフェンホテル(Hotel Hafen)で開催されます。主題はPerformance and Potential of Phototrophic Aquaculture - Microalgae, Cyanobacteria and Microcropsです。詳細はウェブサイト www.algaecongress.com をご覧ください。

2. 国際藻類研究シンポジウム

インドのBanaras Hindu UniversityのCentre for Advanced Study in Botany主催の国際藻類研究シンポジウム (International Symposium on

Phycological Research, ISPR-2010) が 2010 年 2 月 25 - 27 日にインドの Varanasi で開催されます。世界の大学、研究所、企業などから先導的研究者の参加が期待されており、シアノバクテリア (藍藻) を含む藻類研究の全般にわたるシンポジウムです。藻類の多様性・種分化・進化、共生、ストレス下の藻類、藻類分子生物学・ゲノミクス・プロテオミクス・メタボロミクス、藻類バイオテクノロジー、藻類と医薬・機能性食品・毒物質・生体分子・薬物/抗生物質、藻類と生物的環境浄化、藻類と環境/生態学などのテーマが挙げられています。参加登録料は 2009 年 12 月 31 日までが US\$200 (同伴者 US\$100) それ以後は US\$250 (同伴者 US\$150) 当日登録は US\$300 (同伴者 US\$200) です。参加登録、要旨提出、宿泊申込みの期限はいずれも 2009 年 12 月 31 日です。詳細はウェブサイト www.ispr2010.org.in をご覧ください。

3. 第 5 回ヨーロッパ藻類学会議

ヨーロッパ藻類学会連合 (European Union of Phycological Societies) 主催の第 5 回ヨーロッパ藻類学会議 (The 5th European Phycological Congress, EPC5) が "Exploring the Phycocosmos: A European Perspective" をテーマに 2011 年 9 月 4 - 9 日にギリシャのロードス島 (Rhodos Palace Hotel) で開催されます。詳細はウェブサイト www.epcv.gr をご覧ください。

4. 第 20 回国際海藻シンポジウム (XX ISS)

国際海藻協会 (International Seaweed Association, ISA) 主催の第 20 回国際海藻シンポジウム (The XX International Seaweed Symposium, XX-ISS) が 2010 年 2 月 21 - 26 日にメキシコのエンセナダ (Ensenada, Baja California) で開催されます。詳細は <http://www.xxseaweedsymposium.org> で Second Circular をご覧ください。

. カレンダー

2009.12.1-2. 国際藻類会議 (ドイツ、ハンブルク)

2009.12.1-4. 第 7 回アジア太平洋藻類バイオテクノロジー会議 (インド、ニューデリー) (No.18)

2010.2.21-26. 第 20 回国際海藻シンポジウム (メキシコ、エンセナダ) (No.19)

2010.2.25-27. 国際藻類研究シンポジウム (インド、ヴァラーナシ)

2011.9.4-9. 第 5 回ヨーロッパ藻類学会議 (ギリシャ、ロードス島)

．海藻 Q & A

これまでのQ & A

- Q1 - 「海藻」と「海草」は同じですか。(No.2 に掲載)
- Q2 - ノリの「色落ち」って何ですか。(No.2 に掲載)
- Q3 - 海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか？(No.3 に掲載)
- Q4 - コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか？ 焼き海苔はなぜ緑色か(No.3 に掲載)
- Q5 - 海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか？(No.3 に掲載)
- Q6 - テングサという種名の海藻はないのですか？(No.4 に掲載)
- Q7 - 「うみぶどう」は海藻の名前ですか？(No.5 に掲載)
- Q8 - 「キラー海藻」って何？(No.6 に掲載)
- Q9 - 日本の海苔は輸出されていますか？(No.6 に掲載)
- Q10 - 「髪菜(はっさい)」は海藻ですか？(No.7 に掲載)
- Q11 - 中国で栽培(養殖)されているノリは日本のノリと同じですか？(No.8 に掲載)
- Q12 - 「岩のり」と「青のり」は違うものですか？(No.9 に掲載)
- Q13 - 「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか？(No.10 に掲載)
- Q14 - 「鰯浦こんぶ」はコンブですか？(No.11 に掲載)
- Q15 - 日本産海苔の輸出状況はどのようになっていますか？(No.12 に掲載)
- Q16 - 「磯焼け」って何？(No.13 に掲載)
- Q17 - 「寒天」と「ところてん(心太)」はどう違うのですか？(No.14 に掲載)
- Q18 - 「はんば」って何？(No.15 に掲載)
- Q19 - 「みずこんぶ」(水こんぶ)とは？(No.17 に掲載)
- Q20 - わかめ(若布)の製品にはどのようなものがありますか？(No.18 に掲載)
- Q21- 有毒な海藻はありますか？(No.19 に掲載)

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回(毎月15日付で)発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F

マリン・サイエンス株式会社 内

日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝 (arugay@mx4.ttcn.ne.jp)